

## ♪「群馬アコーディオンフェスティバル第24回定期演奏会」ぶらり訪問記♪

日 時 2010年7月11日(日)13:30 開演  
会 場 太田市社会教育総合センター  
出演団体 前橋 / 伊勢崎 / 桐生 /  
太田 / 渋川 / 境 / 高崎 /  
館林 / 玉村 / 薮塚の各サークル

.....  
2年ぶりに群馬まで出かけて見ました。東武伊勢崎線の車窓から、田植えも終わり5~60センチ程に成長した稲のじゅうたんを見ていると、群馬県って意外と米所なんだなと改めて思いました。

プログラムは、第1部[小編成・小合奏・大合奏]、第2部には[重奏]が加わり、それぞれ休憩を挟み第3部は特別出演[江森登・魅惑のアコーディオン]そんな構成でした。

まず、オープニングの前に、降りている緞帳の前のわずかなスペースに10人ぐらい一列に並び「みんなで歌いましょう」と伴奏が始まり、「夏の思い出」「昴」を一緒に歌い、「間もなく始まるよ」という演出でした。

比較的人数の少ないサークルは他のサークルと合同で演奏していますが、20名を越えるサークルもいくつかありました。1部で印象に残ったのは、伊勢崎と玉村サークルの合同演奏「シルクロードのテーマ」で、指揮と一体になった終わり方がとっても素敵でした。1部ではもう一つ「丘を越えて」と群馬、栃木ではよく演奏されるという「八木節」、八木節には鐘と太鼓が加わり演奏者も鉢巻きと黄色いシャツでそろえ調子もよかったです。指揮者(田村鉄雄氏)が“祭”の文字の入ったうちわを持って登場したので、指揮棒



代わりに使うのかと思いましたが写真のように腰のベルトに挟んでの雰囲気づくりでした。

二部の最初は、地元で活動している「ゴスペルコミュニティ東毛オールスターズ」のみなさんによる合唱でした。写真のように子ども



もたちも大勢参加してパンチの効いた歌声を聴かせてくれました。アコーディオンの音色が続く中で、はっとさせられ以外なところから元気をもらいました。

唯一の二重奏、藤生さんと、福田さんの息のあった「ラ・クンパルシータ」はテンポがよくフレッシュで素敵な演奏でした。

2部の最後は大合奏「フィンランディア」指揮は上ノ原良幸さんでした。50名越えると舞台も窮屈そうで圧巻です。(写真参照)



第3部江森登氏のコーナーはいつもながら期待を裏切らない演奏はさすがです。桜間好子氏との二重奏が終わって自然に笑みがこぼれるお二人の姿が印象的でした。

来年50周年を迎える群馬の皆さんです、関東の演奏交流会にも参加して東京近郊の皆さんとも交流できたら素敵なのにと強く思い会場を後にしました。(乙津:記)

